
終わりのなき物語

ミッシ・ゴッシュ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

終わりになき物語

【Nコード】

N5273F

【作者名】

ミッシ・ゴッシュ

【あらすじ】

一冊の本が齎す不思議な物語……。心暖まる、悲しい話。

或る日、一人の若い人間が終わりなき物語を読み始めました。そして、それを見詰める若い神がいました。

若い人間は来る日も来る日も物語を読み続けました。暫くすると、見ているだけの若い神は飽きて来ました。なので若い神は終わりなき物語を読む若い人間に話し掛けました。

「貴方は何の為に終わりなき物語を読むのですか？」

「さあ、やる事が無いからですかね」

「その物語を今まで読み終えた人間はいません。貴方に読み終える事が出来ますか？」

「さあ、そればかりはわかりませんね」

若い人間はそ知らぬ顔で本に目を戻しました。若い神は、これは駄目だとその場を去りました。

それから何年も経ち、世界中を旅していた若い神は、あの若い人間と再び会いました。

若い人間は年をとり、もう老いた人間になっていましたが、その手にはしっかりと終わりなき物語が握られていました。

「読み終える事は出来ましたか？」

「さあ、どうでしょうか」

若い神はやっぱり駄目だったかとかっかりして立ち去ろうとした時、老いた人間が口を開きました。

「貴方はこれを読み終えた後に、何が起こるか知っているのでしょうか?」

「いえ、それは読み終えた者にしかわかりません」

老いた人間は皺枯れた声でくすくす笑いました。若い神はなぜ笑っているのかわからず、怪訝な顔をしました。

「どうして笑っているのですか?」

「いえね、神にわからない事がどうして人間などにわかるのかと思います」

若い神は言いました。

「人間だからわかる事もあるんですよ」

「そう言う物ですか?」

「そう言う物です」

若い神と老いた人間はくすくす笑い合いました。

馬が合ったのか、若い神と老いた人間は一緒に暮らす様になりま

した。

それから何年か経ち、病気を患った老いた人間は今にも死にそうでした。

「終わりのなき物語の終わりが見えたよ」

かすれて小さな声でしたが、若い神にははっきり聞こえました。

「それは良かった。これで私も安心して神界に帰れるよ」

「それは良かった。これで私も安心して眠る事が出来るよ」

若い神と老いた人間はお互いの手を取り、最後のお別れを告げました。

神界に帰った若い神は老いた神に言いました。

「終わりのなき物語は、悲しい物語でした」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5273f/>

終わりのなき物語

2011年1月28日09時20分発行